

第1回 飯田市特別職報酬等審議会 会議録

開催日

平成30年12月18日(火) 18時から19時30分まで

事務局

総務部長、人事課長、人事係長、人事係員

会議の内容

1 開会

2 委嘱状交付

3 市長あいさつ

4 委員紹介(敬称略)

次の10名

- ・一般社団法人 飯田青年会議所 佐々木 志郎
- ・みなみ信州農業協同組合 寺沢 寿男
- ・連合長野飯田地域協議会 竹村 進
- ・千代地区まちづくり委員会 川手 重光
- ・飯田消費者の会 中島 たせ子
- ・飯田商工会議所 小林 諭史
- ・飯田市連合婦人会 近藤 陽子
- ・飯田市女性団体連絡協議会 西塚洋子
- ・特定非営利活動法人飯田ボランティア協会 大蔵 正明
- ・公募委員 吉澤之榮

欠席者 2名(竹村 進、小林 諭史)

5 会長の選任

川手 重光委員を選任

6 会長あいさつ

7 諮問

市長退席

8 議事

(1) 事務局（人事課長）からの説明

(2) 質疑応答

・会長

前回の審議会のときに、報酬を下げ続けることは、士気に係わるのではないかという意見もありました。議員さんのなり手も少ない。そういった意見を踏まえて前回の答申をし、付帯意見をつけております。当市の財政状況がどうかということだと思います。

意見のある方は、挙手をしてお名前を言ってから発言をお願いします。

・A委員

1 ページの資料について平成 19 年から 5%の報酬を減額していますが、減額の理由を教えてください。

→平成 14 年から減額は続いており、現在の減額率が始まったのは、平成 19 年からですが、平成 17 年には、上村南信濃村との合併がありました。このときは合併特例債の借入れなどもあり起債の額が非常に大きかった。実質公債費比率も平成 19 年には 13.5%という借金が多い状況だったが、今は 8%台になっています。庁舎の建設や今後のリニア駅周辺整備など大型事業が控えているということで、財政状況による減額を諮問し、答申していただいていたという状況です。（人事課長）

・A委員

財政状況がどのようになったら減額を止めるのか。基準を教えてください。減額したままでは士気に係わる。

→牧野市長在任中は、起債残高が減るなど財政状況は改善しています。減額を続けて来たのは庁舎建て替えやリニア駅整備など大型事業が控えていたためです。（人事課長）

→財政努力はしているということをご理解いただきたい。（総務部長）

・G委員

議員には退職手当はないのか。ないのは飯田市だけなのか。

→全国的に以前からない。以前は議員年金があったが今はありません。（人事課長）

・会長

昔は 3 期 12 年を終えると議員年金が出たが今は無い。議員さんたちが今からどの年金に入るか。4 期 5 期務めても保障がないのも問題だと思うが今から言ってもどうしようもない。

・G委員

国会議員も退職手当はないか。

→無い。（人事課長）

・会長

C委員いかがですか。

・C委員

財政状況にあった支払い金額ならいいのではないかと。財政状況に応じての減額だったと思いますが、状況が変われば減額はいいのではないかと。財政状況を見るというのが、私にはわからない。

・会長

財政状況は、以前より公債比率をみても好転はしているということですね。
他の方いかがですか。

・B委員

議員の給料であれば年金は不要だと思う。むしろ、もらっている金額が多いのではないかと。前回の審議会でも思ったが、市長や副市長は毎日市役所にきているが、毎日来ていない議員とを比較しバランスをみると高いと思う。確か前々回の審議会では、議員定数を減らしたので報酬はそのままにします。といった内容で報酬が決められていました。数が減るのでがんばってもらわないといけないのでということでした。

→議員さんとしても定数のあり方を常に研究している状況でございます。今回、他市との比較をした資料を提出しましたが、議員さん自身も自らの政治活動について比較や研究をしているということを申し上げておきます。(総務部長)

・会長

D委員いかがですか。

・D委員

議員の手当については他の人たちはそんなに給料をもらっていない。やっぱり議員さんの報酬は高いと思う。なぜかというとなんかTVなどを見ていると議員さんが生活できないから昼は仕事をしているのを見る。金額は月10何万円くらいです。そういうことを考えると議員の報酬は、人数は減ったというが、しっかりやっていただければいいですが、市長と比較するとBさんが言っていたように高いなと思います。財政状況など借金がいくらあるかなど詳しいことはわからないが、財政状態によって変わっていくんだろうけれども議員は高いなと思う。

・会長

E委員いかがですか。

・E委員

私も前回は委員でしたが、先ほどの減額についてのご質問や答えもありましたが、前回もなぜ減額

するかについては財政状況によるという継続で諮問だった。本来は、規定により、この金額でいいと思うが、減額はよっぽどのことだ。財政状況によるものだということが、この数値が適正なのかという判断は非常に難しい。破綻するだとかいう状況でもないかぎり減額の措置はとるべきではないと思います。本来の額が適正かどうかは本来の議論であって、今回の諮問については条例に基づいて戻すというものであって私は基本的に賛成です。

・会長

F委員いかがですか。

・F委員

E委員がおっしゃっていたように減額については問題があって何か悪いことをしたとかではないので条例に従った金額で支払うべきだと思います。減額については、もし減額するのであれば本来の条例の額を財政状況にあわせて減額というのが原則だと思います。今回の諮問については本来の額に戻すということですので賛成です。

議員の報酬に関しては、高いか安いかで言うと、どういう働きをしてどういう成果があってこの金額ですということは少し疑問があります。もしかしたら安いかもしれないです。安いかもしれないというのは、すごく働いている議員さんもいらっしゃいますし、そうではない議員さんもいるということです。実働としてなにか成果が出ていますというのが今判断できないのでなんとも言えません。若い人の議員のなり手がいないということを考えると、議員の仕事に集中できるもっと力を発揮できる環境を整えるという意味では安いかもしれません。他の仕事をしなくても議員の仕事だけで成り立つよということであればもっと一生懸命やれるということになるのでそういう意味で言えば安いかもしれません。一概には言えません。

議員の報酬は、通常の方は社会保険や、税金を引かれると思うが、サラリーマンと同じですか。
→所得税などが控除されるので、サラリーマンと変わらない。(人事課長)

・会長

サラリーマンと一緒にということだが、他にも収入があるかもしれないという意味では違うこともあるかもしれないということですね。

・F委員

特別減税されているということはないか。
→ないです。(人事課長)

・A委員

松尾で最近議会報告会があったので出席した。かなり厳しい意見があった。議員が一生懸命仕事をしているということであれば金額は問題ないと思います。ですが、報告会の資料を見ると矛盾していることがいっぱいあって、これでは議員さん仕事をしていないという意見が松尾では大半でありました。

もうひとつは、私は飯田下伊那の経営者の協会に加入してまして、研修としてケーブルTVにて議

会の傍聴を行いました。68人中42人が、議会中継をみたのですが、これでは会社はつぶれてしまうという意見が大半だった。どういうことかと言うと、やるのかやらないのかその結論も出ない。こんなことを永遠にしているようでは議員の皆さんもうちょっとしっかりやってくれという意見でした。一生懸命働いてくれている議員さんには申し訳ないのですが、今の状況ではちょっと弱いと思う。

・会長

議員にも何年もやっている方、新人の方もいると思うが、千代の議員は、本当にしっかりやっている。倍やってもいいくらい働いている。名前を出すのはよくないと思うが、総じて、議員の皆さんにはがんばっていただきたいということだ。議会を見ていると市長と議員のかみ合せがまったくよくない。どうしたらいける方向があるかとか、市長が反論してはいけないとか質問の仕方や方法など一定の縛りがあるようだが、見ていて燃え上がってこない。もっと燃えるような質問をしてほしいと思う。縛りはあるのだからしっかり質問をしてほしいと思う。

・G委員

羽場からは2人出ているので議会の傍聴にはできるだけ行くようにしているのですが、いい質問をされているのですが、質問して答えて、はい終わりという感じだ。事前に質問を提出しているということなのでしっかり資料を作られているがそれに対してもう少し突っ込んで質問してほしいと思う。具体的にどうするかが無い。残念なところだ。議員報酬は少ないとは思わない。むしろ必要であれば上げてもいいと思う。

・会長

ご意見はあると思いますが、本則から、11年間減額されているということであり、市の財政状況をみて報酬を見直す時期だと思いますが、簡単に諮問どおりに報酬を上げるわけにはいかないのです。他に意見などありますか。

・A委員

14ページの起債残高は一般会計のみか。
→墓地事業特別会計やケーブルテレビ放送事業特別会計を含めて国保会計などの特別会計を除いた普通会計のみです。(人事課長)

・A委員

全体では800億円くらいの起債があると思うのですが、一般の大きい会社でも800億円も借金があれば倒産してしまうと思うのですが、市役所だからもっているのだと思います。牧野市長になってから起債は減ってきていますが、いつまでにどれくらい減らすかという目標はどうなんだと。もうひとつ大きな問題は市長3期のうち人口、農業出荷額、工業出荷額で上伊那に抜かれている。飯田下伊那は疲弊している印象だ。その中で報酬を上げてもいいものかとは思うところだ。

・会長

他の市と比べてもそんなに悪くはない数字だが、市というものはこういうものなんだという印象だ。
総務部長いかがか。

→起債残高目標 550 億円達成に向け進行管理をしている。着実に減らしていることは申し上げます。(総務部長)

・会長

質疑は尽くされたわけではないのですが、冬の夜であります。様々な意見をいただきました。一回の会議で決めるわけではないので、事務局で本日の議事録を作成していただき、次回の会議に委員の皆さまにお配りするということがいかか。そのときに落としどころを見つけていただきたいと思いますと思うのですがいかがですか。

・全委員

異議なし。

(3) 次回日程の確認

次回の会議は、平成 31 年 1 月 15 日 (火) 午前 9 時 30 分から。

9 閉 会

・会長

皆様には大変熱心なご審議をいただきありがとうございました。